

2026

園だより



ArteKodomotoki

社会福祉法人 種の会
幼保連携型認定こども園
アルテ子どもと木幼保園
〒164-0001 中野区中野1-59-5
Tel 03-3365-0602

5



ホームページ



Instagram

お知らせ

- 5月より2歳～5歳クラスの保育参加を実施します。主活動のあと一緒に食事をして頂きます。子ども達の食育をより充実させるため、食後にアンケートをお願いしますので是非ご協力をお願い致します。0歳1歳クラスの保育参加は10月中旬～11月となります。
- 1日はシンガーソングライターの荒巻シャケちゃんが来園し、子ども達と手あそびや歌あそびを楽しみます。
- 1歳～5歳の保護者会詳細はChildCareWebメールでお知らせした通りです。
- 22日(金)春のピクニックは幼児クラスのみとなります。お弁当をご用意下さい。詳細は後日お知らせ致します。※保護者の参加はありません。
- 6月6日(土)ファミリーデー
ふれ合い遊びと屋上園庭を使ったワークショップを行います。今年度から時間が変更となります。幼児クラスは午後の開催となりますのでご注意ください。詳細はチャイルドケアメールで配信しておりますのでご確認ください。
- 園で使用する持ち物や洋服には必ず記名してください。また、洗濯などで薄くなっていないかをご確認ください。ご協力よろしくお願い致します。

May 5 2026						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1 シャケちゃんの うたあそびライブ	2
3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7 運動あそび 発育測定	8	9
10 母の日	11 音楽あそび 3歳児 保護者会	12 1・4歳児 保護者会	13 0歳児健診 2・5歳児 保護者会	14 運動あそび	15	16
17	18 音楽あそび 園庭ランチ	19 ベビータイム 園見学相談会	20 避難訓練	21 運動あそび 地域サーキット	22 春のピクニック (3・4・5歳)	23
24	25 音楽あそび	26	27 誕生会	28 運動あそび	29 0歳児健診	30
31						

*地域サーキット、園見学相談会、ベビータイム、園庭開放ランチ試食会は地域にお住まいのご家族への子育て支援として開催しています。

※今月の園だよりのテーマ:新しいクラスでの様子



頬に感じる風が心地良く自然の恵みを感じる季節です。待ちわびたかのように新緑が芽吹き、屋上のジャスミンが甘い香りを漂わせています。シロツメクサが足元一面に広がり、四葉を見つけたという嬉しいニュースも届きました。地面に不思議な土の盛り上がりを見つけて好奇心や探求心も芽生えます。自然は学びの宝庫です。日本は世界でも有数の自然災害大国で、自然との共存が欠かせません。幼い時から自然に親しみ、難しい環境問題に向けて自然を大切にすることを育みたいと思っています。

ファミリーデーでは親子のふれあい遊びと屋上園庭で植物や土に触れるプログラムを予定しています。肌と肌とのふれあいは心と心をつなぎ、そのぬくもりが安心感となります。ふれあいは心の栄養です。どうぞご家族で楽しい時間をお過ごし下さい。

園長 山田寿江

小さな先輩

1歳クラスで一番月齢の低いAさん、0歳の新入園児さんがバギーで園庭をお散歩していると、カップを「どーぞ」とばかりに差し出します。小さいけれど、にこやかに手を振って気にかけてくれる優しいお兄さんです。

2歳ピコ組では、新入園児Bさんが大声で泣いていました。年長クラスのお姉さんが心配してピコ組まで来て「何して遊ぶ？絵本見る？」と絵本『わたしのワンピース』を読み始めました。絵本読みの近くへ来たのは、同じクラスのCさん。泣き止んだBさんの前にそっと座り、ズボンの模様を指して「お星さまおんなじ」と言って頭をなでてあげました。その様子を見て、さっきまで「ママがいい」と泣いていたDさんもいい子いい子とBさんの頭をなでます。新しい環境の不安や寂しさも、友達の優しさがそっと包み込み温かな関係が生まれています。小さくても人を思いやる優しさは、たくさんの愛情を注いでもらった証なのかもしれません。今の涙が、友達への関心や思いやりに変わっていく日も遠くはないようです。



今、どんな気持ち？

年長クラスで「気持ちカード」を使って自分の気持ちを表すことを試んでいます。泣いていたEさんに理由を聞くと、作ったラQの作品が壊れていたのだとか。カードで示してもらった「かなしい」でした。「毎日ママのことが心配」と「しんぱい」カードを選ぶ子、「しあわせカード」が足りないと言う子、自分の感情と向き合うことで心の状態を知り、受け止めたり、切り替えたりします。感情を閉じ込めず本当の気持ちを探ることは大人も必要かもしれません。先月、「不適切保育防止」研修を実施し、子どもの人権について職員みんなで学びました。今月は「メンタルヘルス」研修を予定しています。保育者の心の健康が保育や同僚性を高めていく要素になると考えています。





周囲への興味・関心

主幹教諭：中村

0歳児室に行くとしっとり一人遊びをしていたり、保育者と一緒に遊んでいた様子が見られる中、友達や周囲の人への興味を持ち始めた姿が多くみられるようになってきました。

友達が使っている物を取ると、相手が「あー」と大きな声を出したり、泣いたりします。人が使っている物を取るのはいけません、自分がしたことに対して大きく反応してくれた、自分に興味を持ってくれた事が嬉しいという初めての経験をしているのかもしれませんが。

同じ事をして楽しむと同じように、取り合いの中でも大人との関りとは異なる子ども同士の関りが育まれています。

園以外で、中々同年代の友達と関わる事が少なくなっているため、園ではたくさん関わっていきたくてです。

何度もお互いの思いをぶつけ合いながら、少しずつ相手の気持ちを受け入れたり、力を貸してもらったりしながら関わり方を知っていきます。大人はお互いの思いに寄り添いながら、声を掛けたり見守ったりしていきたくてですね。



ママとパパの見える窓

主幹教諭：黒木

植物を描くことが楽しくなったCさんは、2階の絵本コーナーにも小さな植物があることに興味を持っています。

「先生、どうしてシューシューってするの？」

「土にお水をあげるだけじゃなくて、葉っぱにもお水をあげたいから霧吹きでお水をかけているんだよ」

「そうなんだ！わたし、もっとここに植物があると良いと思ってるよ」

「あら、すてき！どこに置きたいの？」

「まずこの窓とソファの前ね。あ、でもこの窓には置かないで！」

「どうして？」

「だって、この窓はママとパパがお迎えにきたら見えるから」

朝はママやパパを送り出す窓、夕方は大好きなママとパパと再会できる窓。階段にあるたくさんの窓の中で、この窓だけは植物を置かず、見えるようにしたいという思いを知り、心があたたかくなりました。



表紙の絵

5歳ナノ組ちさのさんの絹さやの観察画です。本物の絹さやの色や形を丁寧に探りながら描きました。



O Ato

少しずつ芽生えてきた安心感

大好きなパパやママと離れるのが寂しくて、受け入れ時に泣いてしまう子ども達。抱っこをしても“パパがいい”“ママがいい”と訴えるように泣き続けていました。初めての園生活、初めての先生達、新しいことばかりで不安でいっぱいです。たくさん抱っこをしたり、触れ合って遊んだりして信頼関係を築けるようにしました。天気の良い日はバギーに乗って緑豊かな園庭をゆったりとお散歩。すると、先に遊んでいた1歳アト組の友達が優しく声を掛けてくれます。お部屋では、落ち着いた表情を浮かべながら、メリーを目で追う可愛らしい姿が見られます。玩具に興味津々で、自分から手を伸ばして遊ぶようにもなりました。おもしろそうなものを見つけると触わり確かめて夢中になる子ども達です。

だんだんと園に慣れてきたように感じるこの頃……。これからも、子ども達の気持ちに寄り添い、温かい雰囲気の中で、安心して過ごせるようにしていきたいと思います。



大切な食事の時間

食事の準備を始めると、すぐに気が付いて、ハイハイで近付こうとする姿も見られるようになりました。椅子に座って“早くたべたいよー”と催促するのはSくんです。スプーンを口に運ぶと嬉しそうな笑顔で“パクッ”。ゆっくりとモグモグしながら食べます。Mさんはしっかりと食材を握り、自分で掴み食べをするようになりました。Kさんは保育者に介助されながらも、自分で食べようと意欲的です。様々な食材の感触を確かめてから、自分で口に運びます。ミルクが大好きで楽しみにしているのはRくん。哺乳瓶を見るとニコッと笑い“早く飲みたい！”と口を開けて待っています。飲み終わると満足そうな表情……。とても微笑ましく、ほっこりとした気持ちにさせられます。

食事はとても大切です。安心、安全で楽しく食べることをねらいとしています。子ども達一人ひとりのペースに合わせて丁寧に進めていきます。

先生と一緒に

1歳児クラスに入園、進級し1か月が経ちました。子ども達は、遊びを通して先生達と親しみながら関係性を築いています。

最近は、“真似っこ”や“リズム遊び”がブームです。先生がベンチをバスに見立て、♪バスごっこの歌を歌うと、一瞬にして子ども達もベンチに集まってきます。ハンドルを左右にまわしたり、体を揺らしたりして遊んでいます。

YさんとSさんはベンチを取りあって怒る姿も……。みんなが楽しく遊んでいると、その場所や遊びが魅力的に感じるのでしょうか。「座りたかったね。」と声をかけ気持ちを受容しますが、納得出来ない様子。そこで「おしくらまんじゅう〜ぎゅっぎゅっぎゅ〜。」の歌詞に合わせて、座っている子も座っていない子も一緒に抱き合わせると、怒っていた表情が和らぎました。これからも子ども達の様々な思いに寄り添ったり、気分転換したりしながら、楽しい気持ちでいっぱいになれるように関わっていきたいです。



自然の中を探索しながら

紅葉山公園へ散歩に行った日、木々が生き茂る広場で過ごしました。子ども達は、根っこのたくさん生えた地面でバランスをとりながら歩いたり、地面に落ちていた葉っぱや木の実を拾ったりして遊びます。Nさんは山吹の黄色い花が咲いているのを発見し、保育者に教えてくれました。近くにいたRさんにも伝え、花を見せると興味を示して見つめています。触るのは躊躇しているようでした。

保育者から離れて、自分が気になる場所へ探索に行けるようになったのは、離れても見てくれている人がいるという、安心感があってこそその姿です。保育者との信頼関係が日々築かれていることを嬉しく思っています。



2 Pico

人っていいね

入園進級と新生活がスタートして賑やかな毎日を過ごしています。特に新入園児にとっては、毎日がドキドキの連続です。登園時や午睡の時などは、緊張が高まり不安になってしまうのも当然です。そんな時には、既にすっかり園生活に慣れているきょうだいの存在が、心強いものです。心が少し落ち着くまで一緒にお部屋で過ごしてもらうこともあります。午睡の時、そっとお姉さんの手を握ってスヤスヤ眠りにつくTさん。“もういいかな？”とお姉さんが手を放そうとすると、ギュッと握り返して“ずっと一緒にいて”と心の声が聞こえてくるようです。そしてやがて深い眠りに。AIの活用が目まぐるしい中、やはり人の育ちには、人が何よりかけがえのない存在として大切なのだなと感じます。



気づき

遊びの中で、すでに子ども達は次々と気づいて試し、考え想像しています。プロジェクターで映し出された魚達を捕まえようと、廃材のネットや卵パックを映像に押し当てて遊び始め。



Yくん「これにしよう!」とおままごと用のお弁当箱を映像に添えた後

Yくん「お魚、どうぞ」とお弁当を差し出し

保育者「捕まえたのは、何色？」

Yくん「赤!次は、何色がいい？」

保育者「青色がいいな」

Yくん「行ってくるね」

お弁当箱はもちろん空っぽだけど、Yくんから何度も色々な色のステキなお魚が届けられました。

友達と一緒にすることでの気づき。

一人でじっくり向き合うことでの気づき。

友達や保育者と広がっていく世界を沢山経験して行って欲しいです。





3 Nano

「あ！」

ふれあい遊びで『もうじゅうがり』をしました。保育者の言葉を真似ながらトラやライオンなどの猛獣を捕まえに行く遊びです。猛獣を見つけ「あ！」と指さす場面が面白かったようです。猛獣の名前の人数（トラは2人）で集まり、少人数が電車のようにつながって進むのを想定していましたが、子ども達は全員で一本の電車になっていました。新しく入った友達も一緒に楽しんでいて、見ていた保育者も嬉しくなりました。「先生、あ！をやろうよ」とリクエストする姿もあります。これからも友達と楽しく関わられるように見守っていきたいと思います。



「通りま〜す」

ジョイントマットで遊んでいた子ども達が、道路を作りました。車を持った子ども達が続々と集まり、車の往来が多くなりました。そこを歩行者が通ろうとしたのです。大丈夫かな……と見ていると、なんと「通りま〜す」とSさんが手を挙げて通りました。急いで子ども達と一緒に横断歩道を作りました。でも信号がないので車と歩行者が交互に動くのが難しそうです。そこで、グループの写真を貼ってあるパネルを臨時の信号にして、道路の遊びを楽しみました。次の日、保育者が手動で色が変わる信号を作ると、今度は信号を動かす遊びが賑わいました。子ども達のヒラメキと保育者達のヒラメキで遊びが広がっています。次は何ができるかな〜。



お散歩楽しいね

3歳クラスで初めて散歩に出かけた日のことです。公園に到着すると「鯉のぼり！」と嬉しそうに空を見上げていました。遊び始める前に聞いていた話を覚えていて、年齢に合った遊具で遊んだり、保育者が見える範囲で遊んだりしていました。見えない場所に行ったら“いなくなる”危険があると伝えたことが印象に残っていたようです。少し離れた場所に保育者が安全の確認に行くと、H君が「いなくなるよ」と逆に心配してくれました。子ども達は遊具で遊ぶのが楽しかったようです。登ったり滑ったりと笑顔で遊んでいました。幼児クラスには縦割りのグループがあります。クラスを超えた異年齢の友達との関わりも増えていきます。お兄さんお姉さん達と一緒に遊ぶ中でいろいろな経験を重ねていって欲しいです。



4 Nano

調べに行こう！！

子ども達も今の生活にすっかり慣れて楽しそうに園生活を送っています。花や虫などの動植物に興味をもった子ども達。ある日、屋上園庭に出る時、「先生、図鑑を持って行っていいの？」とMさんが言い始めました。すると他の子も色々な図鑑を持って行きたいと言って様々な図鑑を持って屋上園庭へ。Tくんが図鑑を見ながら「このチョウ見たことある。色々な色があるの」とアゲハチョウを指さしながら言いました。すると近くにいた友達が興味深々に「これは？」と図鑑のチョウを指さしながら「しろいチョウ」「これは？」「えっと、なんだろう」と図鑑を友達同士で見ながら楽しそうな会話はその後もしばらく続きました。

違うところでは、AさんとMさんが植物や花の図鑑を持ちながら、屋上園庭の花壇などを観察していました。「このシロツメクサはさっき園庭で見た！！これと同じでむらさきのやつもあった」「なんて読むんだろ」「む、ら、さ、き、つめくさ？って書いてある！！」「むらさきつめくさっていうんだ！じゃあこれは？」「な、の、は、なだって！」と友達と協力しながら図鑑を読んで調べている姿を微笑ましく感じました。



ふれあい遊びって楽しい！

4歳ナノ組の中で友達との関わりも深くなり、「一緒にやりたい」「もっと遊びたい」という気持ちが強く出てきました。最近ではホールを使って友達同士でのふれあい遊びを多く行っています。5歳さんや3歳さんの異年齢でのふれあい遊びをすることもあります。

新しく入園し4歳ナノ組の仲間になった友達とふれあい遊びをおこないました。「2人組なって遊ぼう」と保育者が伝えるとTくんがすぐに新しい友達の方に近寄って、「僕と一緒にやろう！！」と手を差し伸べながら声をかけました。声をかけられた子もその手を取ってニコリ。

困っている様子の友達がいたら、すぐに手を差し伸べることが出来る、助けてあげようと思い行動する。そんな優しい雰囲気のあるクラスなんだと感じました。

5 Nano

これはね～

5歳ナノ組から午睡の時間が選択制となります。午睡しない子ども達は、友達と遊べたり、お気に入りの玩具で遊べたりすることが嬉しいようです。特別な玩具や図鑑もあります。特に図鑑に興味を持っている子どもが多く、1人で集中して読んだり友達と一緒に仲良く読んだりしています。

ある日、Aくんと一緒に読んでいるBくんに対して、指をさして「これ知ってる？」と聞きました。「知らない」と答えるBくん。Aくんは得意気になって「これはね～」と説明していました。たくさん説明してくれるのでBくんは次から次に「これはこれは」と指をさして聞いていました。知っている物にはじょう舌になり、知らない時には平仮名を読んで説明していました。知らない物には「知らない」で終わっても良い所を友達に伝えるために読んであげるAくんの姿に驚きました。

知っていることをたくさん話すことも嬉しそうでしたし、知らないことを友達に教えてもらうことも嬉しそうでした。子ども達同士で教え合うこと、知らないことを知りたいという気持ちをこれからも育てていきたいと感じました。



いっしょにやろう

1年ぶりにアルテに戻ってきた友達のCくんがいます。

1年経ち、新しくなっていることがあり、困っている様子のCくん。その様子を見て手を差し伸べてくれる友達が何人もいます。朝のお支度の場所や玩具の使い方など保育者よりも先に教えてくれています。子ども達にとっては当たり前のことのように友達が困っていたから助けてあげているようでした。そのこともあり、Cくんもすぐに打ち解け、自由遊びの時には友達と一緒に積み木やボードゲームなど色んなことを楽しみながら過ごすことができます。

Atelier



どこでもアトリエ

新年度になり、各クラスの環境設定を子どもの様子を見ながら試行錯誤しているところです。

1歳アト組は、保育室にライトテーブルを常設し様々な素材で遊んでいます。

マシュマロみたいな緩衝材と透明な容器を置いてみると光に浮かび上がった素材に気づいたAくんがやって来て、一つずつ摘まんで

容器に入れ始めました。容器が満杯になると「いっぱい」と言っは別の容器に入れ替えることを繰り返しました。Bくんはままごとコーナーからお玉を持って来ると緩衝材を掬っては口元に寄せ、口をモグモグ動かして食べる真似。Cさんはカップにチェーンと一緒に盛り付け。Dくんは、緩衝材を入れた鍋を保育者に持って行き「どーぞ」とやりとり。一つの素材をそれぞれが別の素材を組み合わせたり道具を使ったりして遊びを発展させている姿に成長を感じると同時に、環境のあり方や素材の提供方法についても考えさせられました。ライトテーブルをより効果的に遊びに取り入れていくには大人がもっと知恵を絞らなければと……。



幼児クラスでは制作コーナーをこれまで以上に充実させ、絵の具も自由に使うお絵描きができるようになりました。自分で色を混ぜ合わせ気に入った色を作っは夢中で筆を走らせています。

園内のいたる所がアトリエになりつつある中、子ども達の遊ぶ様子をよく見て興味を探り、必要なことを見極めながら一緒に遊び、発信していきたいと思ひます。

(文責：雨宮)



ほけんだより

子ども達にとって沢山の初めてがあった4月だったと思います。1歳児クラスでは、立って発育測定をすることが初めてでした。身・体重計に貼ってある足形を触ってみたり、身長計を伸び縮めさせてみたり興味を示していました。しかし、いざ測定となると、足形に足を乗せられず先生にしがみついたり、身長計が頭に降りてくると首が傾いてしまったりしていました。頭囲・胸囲の測定では逃げる子どももいました。先月の身長より縮んでしまっているお子さんがいるかもしれません。1年の発達状況は4月の測定値から見ていきます。ご了承ください。

そんな中 Nくんは、自分で服を脱ごうとし、頭を指差し頭囲測定を促し、身長計に立ち、完璧に測定をこなしました。おかげでその様子を見た子ども達の測定はとてもスムーズに出来ました。普段は慎重派のNくんですがとてもかっこよく、成長を感じました。

5歳児の保健指導も始まりました。1年を通して自分の体について知ってもらいたいと思っています。自分の体を知るということは、自分の体を自分で守るということに繋がっていきます。まず最初は、「気持ちって何？」という話をしました。「あっ！そうなんだ！わたしのきもち」という絵本の中の顔の絵を見せてどんな気持ちだと思うか、聞いてみました。「嬉しい・楽しい・悲しい・怒っている」と、気持ちを表す言葉の数はとても少ないと思いました。「壊されると思ってる」「一緒に遊びたいんじゃない」と日常の様子に関わる事が多く出てきていました。

①気持ちは人それぞれでいい②友達はどんな気持ちでいるのか考えよう③気持ちを声に出して相手に伝えることが大切と話しました。



その後に、自分の気持ちを色で表してみました。例年、単色に塗る子どもが多いのですが Mちゃんは「さびしいとき」を黄・赤・ピンク・紫で塗っていました。「みんながいないと寂しくなるからみんなの好きな色にしたの」という理由でした。

Tちゃんは「泣いているとき」を9色の色鉛筆を使って形をなぞっていました。「泣く時は、悲しい時だけでなく、怒った時も嬉しい時も涙が出るから」という理由でした。気持ちを表す言葉が少なかったのは多色で気持ちを表していることより、様々な気持ちが入り混じっていて整理をしている途中だからなのかもしれません。これから沢山の経験をして感情豊かな子どもに成長して欲しいと願います。

ヒヤリハット

1歳児クラスでは、友達と手を繋いで歩く練習をしています。道中は刺激と誘惑が多くキョロキョロして転ぶことがあります。手をついて体を守れるようになっていく様子を見守っています。ある日の散歩でキョロキョロしていた Rくんは、バランスを崩して後ろに倒れてきました。「えっ！後ろに！」と、びっくりしたそうです。保育者は、歩き方を見ているだけでなく子どもの目線から行動を予想し安全に努めています。これからも予想を超えた行動をして保護者の方を驚かせることがあるかもしれませんね。



発育測定	5月 7日(木)
0歳児健診	5月13日(水)
	5月29日(水)
保健指導予定	早寝早起きについて



食育だより

We want to cook delicious food



新緑がきらきらキラキラとまぶしい清々しい季節になりました。入園・進級して1か月がたち、元気に遊び、みんなで給食を味わい、少しずつ新しい環境に慣れてきた子ども達。旬の食材に触れたり、クッキング活動に参加したりと食事への興味も高まっているように感じます。これから、疲れも出てくる時季でもあるので、ゆったりと食事が楽しめるよう配慮していきたいと思えます。

そら豆のさやむき

給食に出るそら豆のさやむきを2歳さんと1歳さんの精鋭部隊がしてくれました。さや付きの大きなそら豆を手にとって「えだまめ?」「バナナのにおい」とじっくりと観察し、中から豆が顔を出すと「お豆あるよ」「またあった」とにっこり笑顔。翌日のおやつで提供すると「お豆むいたね」「どうやって食べるの」、一口食べて「あまいね」とたくさんのことを感じてくれました。次はどんな野菜に触れ合ってもらおうかと給食室も楽しみにしています。



5歳ナノ組 「ピーラーで皮むき」 🍅 🍊

5歳ナノ組特製カレーライスづくりに向けてピーラーを使う練習をしました。初めて使うピーラーに「怖い…」とドキドキしたり、「お家でやったことあるんだ」と積極的な子も。むき始めると、みんな皮むきに集中。にんじんとじゃがいもに真剣に向き合っていました。にんじんの皮は「絵具にしてみよう」と提案があったので、集めていると「にんじんの皮は食べられないの?」という問いがありました。園では少し固くて食べられないなと考えていたら「にんじんの皮も食べられるよ」と答えてくれる子がいました。にんじんは皮にも栄養がいっぱい。ピーラーでむいてスープに入れたりしてもおいしく食べられると思います。みんなが頑張ってくれたにんじんとじゃがいもは翌日のカレーに入れておいしくいただきました。



こどもの日

本来は端午の節句といわれ、邪気払いをして家の繁栄を願う行事でしたが、男の子の成長を願う行事となり、今では「こどもの日」として子どもの成長を願う日になりました。

～「子どもに伝える 行事の由来と行事食」より～

アルテでは行事の食事とおやつには兜をかたどったパイで子ども達の成長をお祝いします!

🐟 5月の行事食 🐟

5/1 (金) こどもの日

〔給食〕

ちまき風おこわ、かつおの竜田揚げ、キャベツの浅漬け、若竹汁、柑橘類

〔おやつ〕

兜あんパイ

5/19 (火) 世界の料理「メキシコ」

〔給食〕

チリコンカン……ひき肉と豆、トマトの煮込み。
トラペーニョ……鶏とアボカドのスープ。アボカドの代わりにさつまいもを使用。

〔おやつ〕

ブニュエロ……サクサクの揚げ菓子。餃子の皮の素揚げに、グラニュー糖とはちみつをかけます。

5/22 (金) 春のピクニック

〔昼食〕お弁当風メニュー(乳児のみ)

おにぎり(ツナマヨ・わかめ)、鶏肉のから揚げ、ブロッコリーのカラフルサラダ、バナナ

5/26 (火) 非常食

〔昼食〕やきとり丼……非常食のやきとり缶を使用

5/27 (水) お誕生日会

〔昼食〕

食パン、ふんわりハンバーグ、りんご酢のサラダ、コンソメスープ、メロン

〔おやつ〕

お誕生日ケーキ(さくらんぼ)

※さくらんぼは小さくカットして提供します。

5月の旬の食材

アスパラガス、かぶ、かぼちゃ、キャベツ、ごぼう、さやえんどう(きぬさや)、じゃがいも、セロリ、そら豆、たけのこ、チンゲン菜、たまねぎ、にんじん、みつば、レタス、アジ、カツオ、カレイ、しらす、いちご、さくらんぼ、メロン

